

◆ 立川都税事務所長賞 ◆

「税という名の絆」

学校法人明星学苑明星中学校 一年 松浦 花音

私たちの暮らしには、見えない糸で繋がれた無数の関係があります。その中で、税金は一見すると負担であり、良くは感じられないものかもしれません。しかし、少し視点を変えてみると、税金は私たちが互いに支え合うための大切な絆であることに気づくことができます。

私が税金の重要性を深く実感したのは、小学生の時、授業で東日本大震災をよく知った時でした。自然の災害は多くの命を奪い、街を壊滅させたことを知りました。しかし、すぐに全国から多くの支援が届き、政府の迅速な対応で食料や水、医療支援が提供され、避難所の設営も迅速に行われたそうです。これらの支援がなければ、当時の人々はもっと困難な状況に陥っていたことでしょう。これを知った時、私は初めて税金が私たちの生活を支える見えない力であることを強く感じました。税金は、私たちが社会の一員として共に生きていくための参加費のようなものです。それは、道路や橋、公園、図書館、学校、病院など、私たちの日常生活に欠かせないインフラやサービスを維持し、発展させるために必要な資金を提供しています。私立の学校に通っている私にとっても、税金によって支えられている公共サービスは、私たちの日常生活の一部です。例えば、公共の道路や交通機関などは、私たちが日常的に利用しているものです。これらは税金によって維持され、発展しています。さらに、税金は社会の弱者を支えるための大切な役割も果たしています。高齢者や障害者、低所得者など、様々な理由で支援が必要な人々がいます。税金は、そのような人々に対して福祉や医療、教育などの支援を提供するために使われています。これにより、社会全体がバランスを保ち、全ての人が最低限の生活を維持する事ができます。ここで、税金はどうしてあるのかを考えました。税金は、単なる政府への支払いではありません。それは、私たちが互いに助け合うための絆であり、社会全体の福祉と安全を守るための共同の努力なのです。私たちが税金を支払うことで、他の誰かが助けられ、また、私たち自身も必要な時には助けられるのです。将来、私が社会に出て働くようになり、税金を納める側になった時、かつて受けた支援の恩返しをしているような気持ちになるでしょう。

税金は、私たちを繋ぐ絆です。この絆を感じ、感謝し、共に未来を築くことが、私たちの使命であると信じています。